

# とも子助産院

## ニュースレター

度重なるご支援に感謝します。



2015年8月6日、にぎやかにとも子助産院リニューアルオープン。念願だった戸田さちえさんの個展を開催し、ママの手作り市・人形劇・ベリーダンス・かき氷のおふるまいなど、楽しいお祭りを4日間にわたり、行いました。4年前の震災の痛手からようやく立ち上がり、これからはママたちが集まりやすい場所に、助産師やスタッフたちが働きやすい場所に、という願いを込めて、  
えいやつと思い  
切って増築し  
ました。



ところが、たった一ヶ月後の9.11。  
豪雨で、深夜1時に床上浸水70cm! 大変な大雨でした。もともと低い場所ではあります  
が、この辺で何百年も農業をしていらっしゃる  
ご近所さんでも「こんなひどいのは、初めてのことだ」

と話しておられました。泥の海に浸った家財や書類を目の前にして、全部このままにして逃げ出したい気持ちになりました。でも、夜が明けると続々と片付けボランティアが集結。100人以上が手を貸してくださいました。タオル・スコップ・高圧洗浄機・扇風機・乾燥機・食べ物…次々に差し入れが入り、重機も入って2日間で泥だしが終わり、「これは頑張って続けるしかないんだなあ。」と改めて覚悟を決めました。愛されているなあと感激しました。「車3台が水没してしまった…。」とつぶやいたら、「足がないと困るでしょ。」と岩手のNPO「子育てシップ大船渡」の代表助産師から、母子のために11万Kmも走ったという魂のこもった軽自動車が、さっと寄贈されました。「車ってもらえるんだ。」とびっくりポン。



トラック7台分の被災ごみを搬出しました。アルバムや撮りためたビデオを失った母が悔しがっています。被災額は?と言われても、値段のつけようもない古いものが惜しかったのです。歪んで開かなくなつた母のタンスからは、私のへその緒や幼稚園の名札まででてきました。諦めがつくには相当の時間が需要ですね。職人さん達のがんばりで建物の修復工事は、あともう少しで终ります。



お手伝いいただいたみなさんに、きちんとお礼も言えないのが、気がかりですが、この御恩は、地域の母と子に返していきたいと思っています。これからも見守ってください。



助産院の主要部分が2階だったため診療が続けられているのが、私の運の強いところです。家族や仲間にも恵まれ、信じる道を歩き続けることができる幸せです。

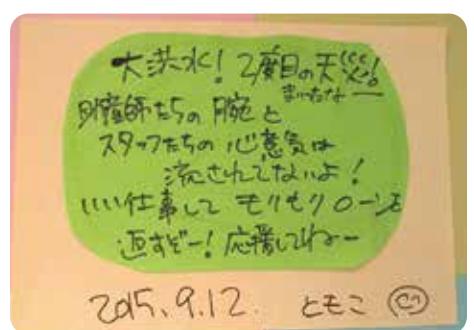
2016年こそ、平和で穏やかな年となりますように。



助産師 伊藤朋子  
〒981-3124  
仙台市泉区野村字野村95-6  
TEL 022-772-5960  
メール tomo@tomo-j.jp

2016年1月発行

2015年の  
できごと



新棟の壁のメッセージボード



車を譲っていただき感謝!



# 2015年のできごと

5月: とも子助産院開業15周年!

ママサークルが、一層にぎやかに活気づいてきた。  
15周年記念メダルやウエルカムボードを作って、  
お母さんたちがお祝いしてくれた。  
日本助産師会の総会で、京都へ。  
産後ケアについて、5月6日の河北新報に記事掲載。  
NHKに震災話で出演。

(ネット動画:検索→NHK・あの時わたしは・伊藤朋子)

7月: 夫と母と3人で九州へ。結婚20周年の旅行。

(助産院の留守を安心して任せられるスタッフの存在に感謝)  
横浜でICMという国際学会で、産後ケアについて発表。

8月: ドレスを着て、下手なイタリア歌曲をうたっていい気分。

9月: 母方の山形叔父がなくなり、とても悲しかった。

葬儀から帰った翌日に洪水発生。

下宿していた姪っ子が一人暮らしを始めた。

11月: ぱれぼれin富谷のママたちが、チャリティーイベントを開催。

ママサークル  
ぱれぼれin富谷始動!



7月に800人目のあかちゃん誕生!

祝800  
人目



嬉しい～力作!



九州にて



結婚20周年

自慢の助産院ご飯  
ブログもみてね



お楽しみ会大成功!

みんなありがとう～



新しい機械で工場研修



1ヶ月過ぎの双子ちゃんが、産後入院でお泊りしました。ママは、ちょっとは休憩できたかな?  
行政の援助がないため100%私費になってしまふのが、心苦しい。

1割負担や、無料で産後ケアが受けられるように助成している自治体も多くなってきて  
いるのに、宮城県には何もない。

頑張っているママを応援する仕組みが、もっとあったらいいのに。  
ママたち、声をあげよう!



Facebookはじめました。

近況やお知らせを発信していくと思います。  
いいね!やフォローしていただけると嬉しいです。  
<https://www.facebook.com/tomokojosanin/>

水害復旧に向け、クラウドファンディングを開始しました。

READYFORのサイト

「仙台で800人の赤ちゃんの命を繋いだ"とも子助産院"を  
復旧したい」をご覧ください。

<https://readyfor.jp/projects/TOMOKOJOSANIN>

2016年2月29日までに330万円の寄付達成が目標です。